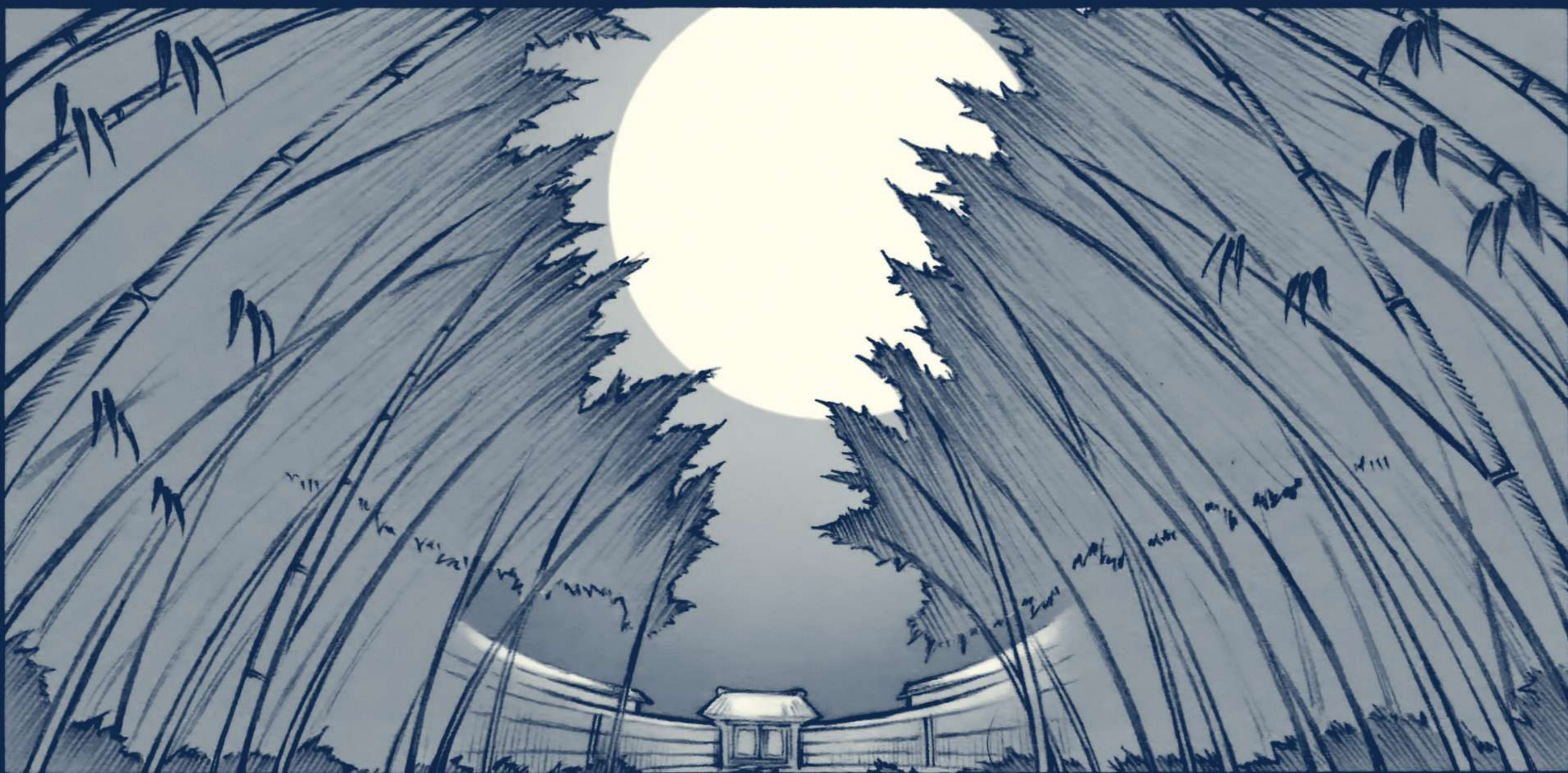


しす
ふれ
月都
万象展

竹林の中に
収まっているとは
到底思えぬ程の
立派なお屋敷には



ふたばをばあさま
姫君たちが——



いざっしょに
ませ〜!

一名様
ご案内ウサ♪

え、永遠亭へ
ようこそ…っ
楽しんでいって
くださいねっ

おお〜
お兄さん
なかなか良いモノを
お持ちですね〜

こ、こんなになる
ものなの…っ?

ほーら
一気にいった
らんさーい!

門をくぐると出迎えてくれたのは
バニー姿の兎が2匹



お兄さん
まだまだ
元気ウサね〜

ケホッ
エフッ

喉の奥に…
直接…っ
まだ、
入ってる
みたい…っ♡

遠慮せず
こちの口も
ゴッゴッゴッゴッ

ムリヤリ喉奥を犯されて
食道に直接射精されたのに
すっかりトロトロになっている淫乱うさぎマ〇コ。



こちらが気持ちよくなる為だけの
一方的な動きでもイキまくる。

そんな…っ♡
そこばかりっ♡
奥…らめ…っ♡

その度に収縮する膣壁が
おねだりするように締め付けてくる。

まずは
お疲れ様♡

次は診察の
お時間ですよ♡

うん、
元気元気♪

これなら
まだまだ
頑張れそうね♡

だからって
ムリは禁物よ

好きなだけで出来るように、
しっかりお薬でマッサージ
しておきましょうね♡

胸を使って丹念に
怪しいお薬を塗り込まれる。

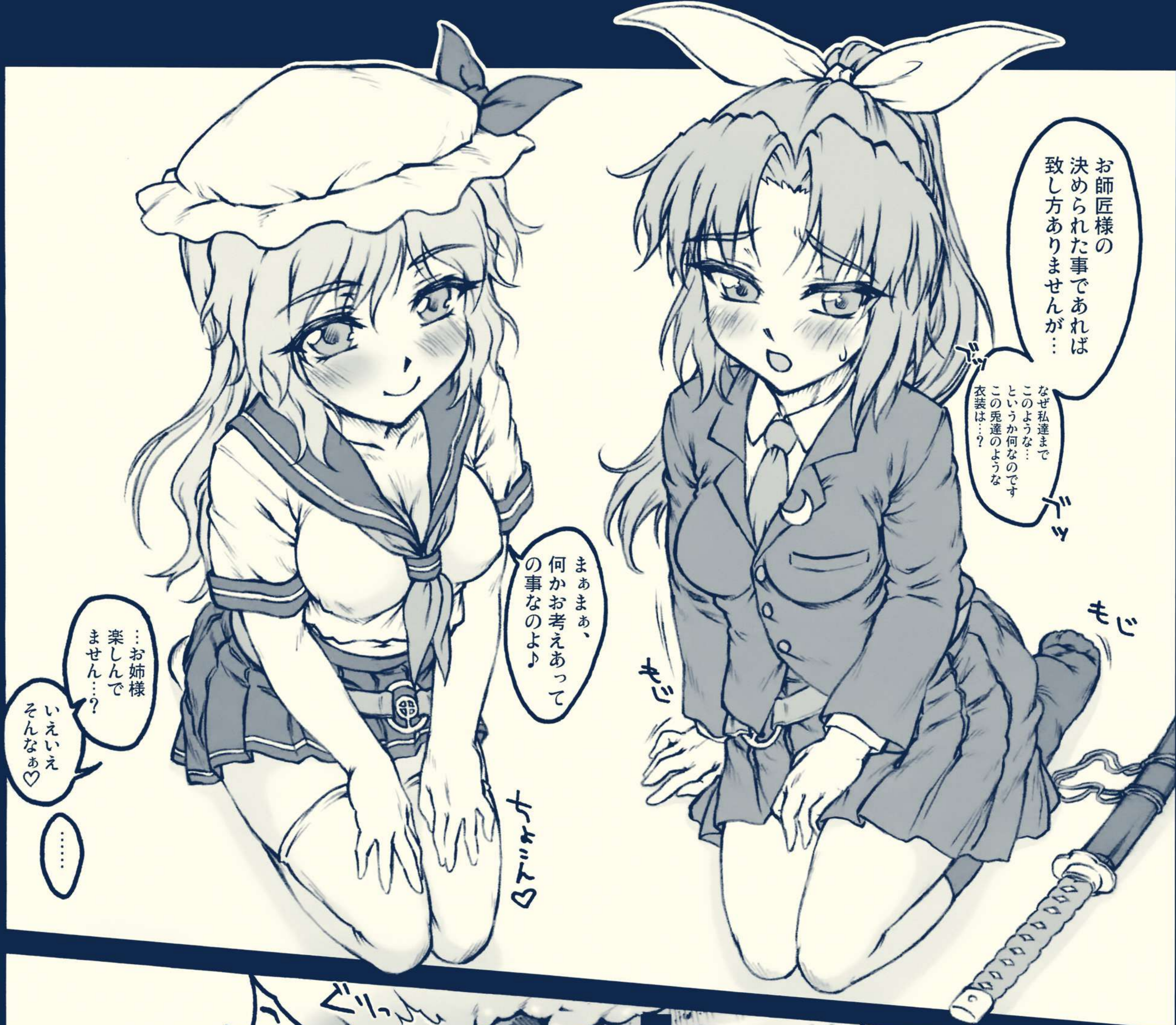
これまで感じたことのない程の
 体の奥から湧き起こる衝動を抑えきれず
 我を忘れてたわわな体にむしゃぶりつく。

がっつかんごう...
 うっ...
 うっ...

あんなに...
 うっ...

慌てなくても
 ちゃんとしてあげ
 らるから...

ほら...
 っ...
 うっ...
 うっ...



お師匠様の
決められた事であれば
致し方ありませんが：

なぜ私達まで
このような...
というかなのです
この兎達のような
衣装は...?

まあまあ、
何かお考えあって
の事なのよ♪

...お姉様
楽しんで
ませんか...?

いえいえ
そんなあ♡

もじ

もじ

♡♡♡♡♡



納得はしていないようでも
抵抗はしないよっちゃん。

ねちっこく攻められるうち、性感に蕩けていくドM体質。
なんとか堪えようとしていた絶頂にも、
弱いところを探り出され、好きなようにイカされてしまう。



外見に似合わず意外に積極的なとよひめ。柔らかな体を押し付けながら、深く啜え込んだ膣ごと腰を振って乱れる。誘われるままにこちらも腰を突き上げてしまう。

フィニッシュは二人の顔に平等に。



まだこんなに
出るものなの…？

こ、こんな…
汚らわしい…っ♡

あんなに嫌がっていた
ペニスの感触と精液の香りを
すっかり快感に結びつけられてしまったよっちゃん。

まったく…
なんで私まで
こんな事…

ムリヤリに
口内を
凌辱する
舌に

えっ、ちよっ!?

いやいや、
ムリだって!

こんな…っ

拒みながらも、
ムリヤリに口内を凌辱する舌に
たどたどしく応えてくれるもこたん。

こ、こら…っ
それはダメ
だつて…っ

キス、
なんて…っ

ムリヤリに
口内を
凌辱する
舌に

舌を絡ませられると
自然と触れているヶ所を意識してしまい、
無意識に自分の性感を開発していく。



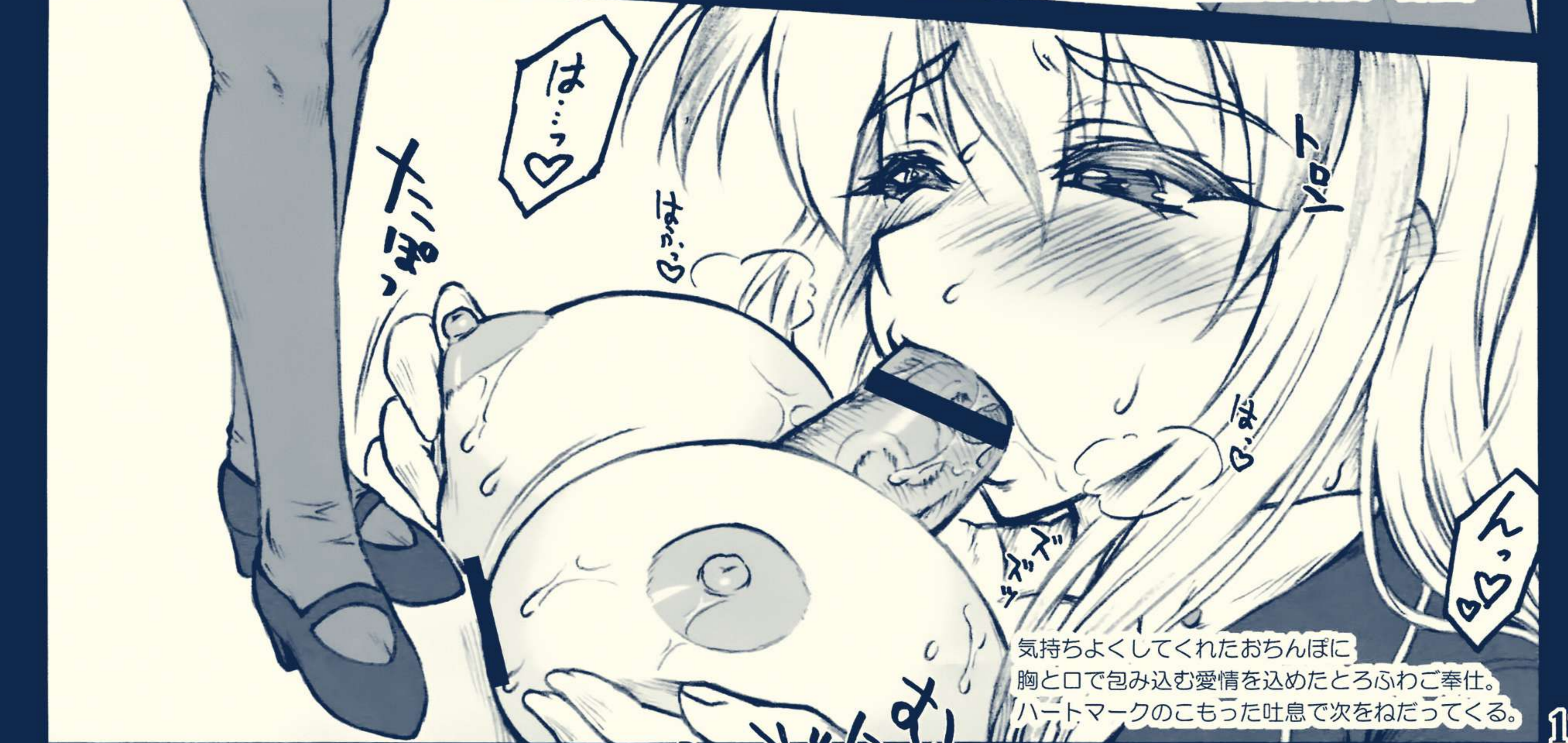
お、私は先生役か？

いいだろう♪
教えるのは得意な
つもりだぞ♡
で、何を教え

そ、そうだ...♡
いいぞ...♡

♡...♡...♡
♡...♡...♡

逆に自分の気持ちいいところを勉強させられるけーね先生。



気持ちよくしてくれたおちんぼに
胸と口で包み込む愛情を込めたとろふわご奉仕。
ハートマークのこもった吐息で次をねだってくる。

ちよ、ちよっと！
何こんな所まで
入ってきてるのよ!?

ち……っ
違うわよっ！
私は、
そういうのじゃ——

うわっ
どろろ
いって
るわ
ね——

一番奥、雰囲気の違い部屋には、
いかにも姫様といった美少女が居た。
なんか言ってる。かえってそそる。
やっちまおう。





お…っ
おぼえて
なさいよ…っ!

すっかり快樂に流されても
囁る事はやめない姫様。
かわいい。

私にこんな
事して、後で
永琳に—

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

なにっ
これ…っ!!
奥にっ
何か…っ!!

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

体の奥底まで
快樂を教え込んであげたくな
した。

オラッ
もう悪さするんじゃないぞ！

ふあい…

『こすぷれ月都万象展』

発行：塵芥 <http://akuta.info/>

発行者：破箒 芥

2013年12月30日初版発行

印刷：AXIS出版

魔界にはまたまた

新刊を

落とす来た。

ニースキヤン

めおり